

第42回大分国際車いすマラソンについて



- 世界記録保持者のマルセル・フグ選手(スイス)や4年ぶりに出場するレジェンドのハインツ・フライ選手(スイス)を始め、国内外のトップアスリートを含む223名が大分に集結。世界の頂点を目指す熱いレースに期待!
- 大会前のオープニングイベントに国枝慎吾氏、レース当日は内川聖一氏に出席いただき、さらに盛り上がる大会へ!

11月19日(日) 10:00 マラソンスタート

10:03 ハーフマラソンスタート

第42回大分国際車いすマラソン事務局：新・阿部

〒870-8501 大分市大手町3丁目1番1号 大分県福祉保健部障害者社会参加推進室内

電話：097-533-6006 FAX：097-506-1736

E-mail：kurumaisu-marathon@pref.oita.lg.jp URL：www.kurumaisu-marathon.com

《エントリー状況》

○ 国内選手（30 都道府県／165 名）

都道府県	マラソン		ハーフ		合計
	男	女	男	女	
北海道		1	1		2
茨城県				1	1
埼玉県	2		1		3
千葉県	1				1
東京都	3	1	6	1	11
神奈川県			1	1	2
富山県	2			1	3
福井県			1		1
静岡県	1		4		5
愛知県			7	2	9
三重県			1		1
滋賀県			1		1
京都府	1		5		6
大阪府	2		3		5
兵庫県			2		2
鳥取県			1		1
島根県	1		1		2
岡山県	2		4	2	8
広島県	1		5		6
山口県			1		1
徳島県	1		1		2
愛媛県	2		3		5
福岡県	6		3	1	10
佐賀県			7		7
長崎県	1		1		2
熊本県	3		8	1	12
大分県	3		27	2	32
宮崎県			7		7
鹿児島県			4		4
沖縄県	1	1	9	2	13
計	33	3	115	14	165

○ 海外選手（18 か国・地域／58 名）

国または地域	マラソン		ハーフ		合計
	男	女	男	女	
オーストラリア	2	3	2		7
ブラジル		1			1
中国	2				2
コロンビア	1				1
フランス	1		1		2
ガーナ	1		1		2
イギリス	2				2
アイルランド	2				2
韓国	3		6		9
メキシコ	4	1	1		6
南アフリカ	1				1
スペイン	4	1			5
スイス	2	2	2		6
アメリカ	4	1			5
ジンバブエ	1	1			2
コスタリカ	1				1
ネパール			2		2
ラオス				2	2
計	31	10	15	2	58

○ 参加者計

参加者計	マラソン		ハーフ		合計	
	男	女	男	女	男	女
国内選手	33	3	115	14	148	17
30都道府県		36		129		165
海外選手	31	10	15	2	46	12
18か国・地域		41		17		58
合計	64	13	130	16	194	29
19か国・地域		77		146		223

○ 性別・種目・クラス別エントリー状況

	マラソン			ハーフマラソン			合計
	男性	女性	計	男性	女性	計	
T34/53/54	54	13	67	105	14	119	186
T33/52	6	-	6	22	2	24	30
T51	4	-	4	3	-	3	7
計	64	13	77	130	16	146	223

《主な出場予定選手》

マラソンT34/53/54 男子



マルセル・フグ(スイス) 37歳

- ・本大会18度目の出場
- ・本大会10回優勝(現在4連覇中)
- ・40回記念大会では22年ぶりに世界記録を更新(1時間17分47秒)
- ・世界最速のご存じ「銀色の弾丸」



鈴木 朋樹(埼玉県) 29歳

- ・本大会8度目の出場
- ・昨年大会2位
- ・WPA2023ランキング2位
- ・国内トップに君臨、海外勢迎撃の一番手



ハインツ・フライ(スイス) 65歳

- ・本大会32度目の出場
- ・外国人最多出場
- ・10連覇を含む過去14度優勝
- ・4年ぶりの来県

マラソンT33/52 男子



佐藤 友祈(岡山県) 34歳

- ・本大会9度目の出場
- ・昨年大会優勝
- ・T52クラス最強選手



上与那原 寛和(沖縄県) 51歳

- ・本大会17度目の出場
- ・昨年大会2位
- ・同クラスマラソン日本記録保持者
- ・東京パラリンピックでも400m・1500m銅メダルと活躍

マラソンT51 男子



ピーター・ドウ・プレア
(南アフリカ) 42歳

- ・本大会9度目の出場
- ・本大会の優勝歴は6回
- ・T51クラス(重度障がい)の大会記録保持者(2時間22分33秒)

マラソンT34/53/54 女子



マヌエラ・シャー(スイス) 38歳

- ・本大会7度目の出場
- ・現WPAランキング1位(T54)
- ・第39回大会にて世界記録更新(1時間35分42秒)



カテリーヌ・デブルナー(スイス) 28歳

- ・本大会初出場
- ・現WPAランキング1位(T53)
- ・2023ベルリンマラソンにて世界記録を更新するタイムで優勝(1時間34分16秒)



喜納 翼(沖縄県) 33歳

- ・本大会9度目の出場
- ・昨年大会では3位
- ・現・マラソン日本記録保持者
- ・現WPAランキング6位(T54)

【アジア・チャレンジ・アスリート】 アジア地域の選手拡大特別企画(41回大会より開始)



ビランフォン・カミクーン(ラオス) 37歳

- ・今大会初出場(ハーフマラソン)



ラサミー・シパトゥース(ラオス) 39歳

- ・今大会初出場(ハーフマラソン)

【ファースト・チャレンジ・アシスト】 国内の初挑戦を支援(38回大会より開始)



菅田 幸之助(福岡県) 39歳

- ・今大会初出場(ハーフマラソン)



黒木 寛嵩(鹿児島県) 17歳

- ・今大会初出場(ハーフマラソン)



後藤 竜羽(大分県) 22歳

- ・今大会初出場(ハーフマラソン)



荒平 楓(鹿児島県) 20歳

- ・今大会初出場(ハーフマラソン)



石田 翔太(愛媛県) 31歳

- ・今大会初出場(ハーフマラソン)

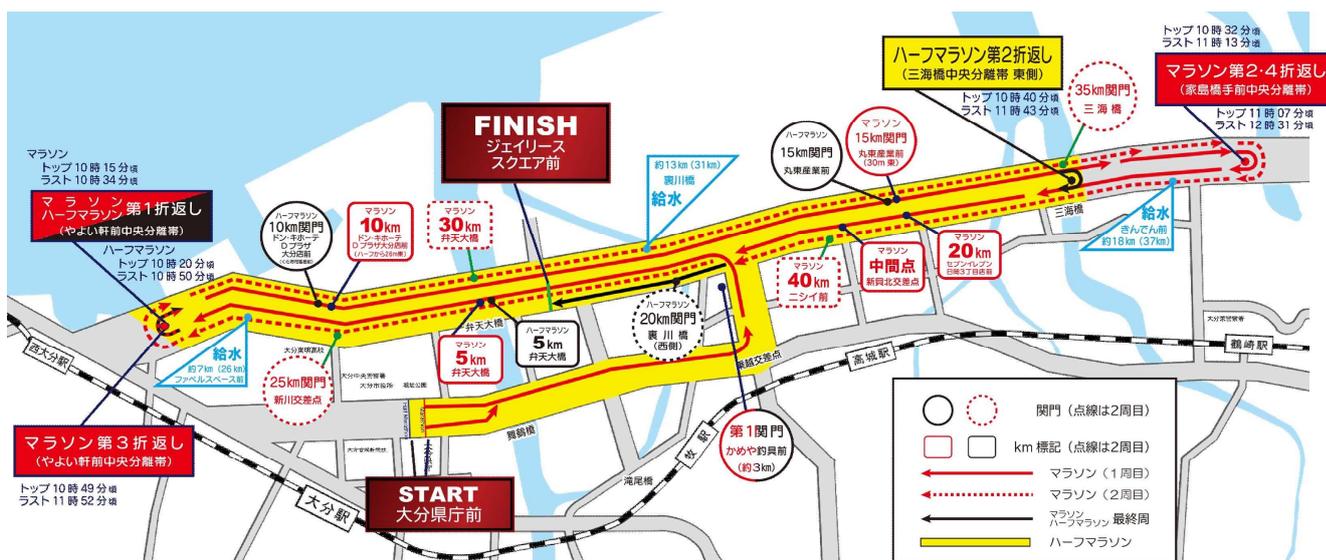
(その他話題の選手)

- ・42回連続出場選手 吉川 勇、原田 耕一(大分県)
- ・最年長選手 工藤金次郎(徳島県) 97歳(本大会41回出場)
- ・最年少選手 堤 福仁(宮崎県) 16歳

《第42回大会の主なポイント》

1 11年ぶりの路上フィニッシュ

- ・ ジェイリース・スタジアム（大分市宮陸上競技場）のトラック改修工事に伴い、11年ぶりに路上フィニッシュとなります。（前回路上フィニッシュ：第32回大会）
- ・ 路上フィニッシュに伴い、若干のコース変更は行うものの、直線主体のコースであることから、記録更新を狙う選手による熱い戦いが期待できます。



※コース周辺をご通行の際は、交通規制にご注意ください（現場係員の指示に従ってください）。

・今年は路上フィニッシュのため、フィニッシュ地点（ジェイリース・スクエア）付近の歩道に関係者や観戦者など多数の人出が予想されます。危険防止、混雑解消のため、一般観戦者については、ジェイリース・スタジアムのスタンド席にて大型ビジョンによる応援をお願いします。

（参考）当日のレースの様子は、テレビ・ラジオで実況生中継される予定です。

【テレビ実況生中継】（BS 及び地上波）

- ・ BS-TBS 11/19（日） 9:55～12:00
- ・ OBS 大分放送 " 9:55～11:30

【ラジオ生中継】

- ・ OBS ラジオ " 9:55～12:00

2 コロナ禍前のイベントを復活し、県民とともに盛り上げる大会へ

本年は、コロナ禍前のイベントを復活させ、大会前の小中学生等、子どもたちと外国人選手の交流会や開会式におけるパレードの開催など、県民とともに、秋深まりゆく大分を盛り上げます。

来年度開催されるパリ 2024 パラリンピックに向け、世界の頂点を目指す有力選手が国内外から勢揃いする今大会。「世界記録の更新」の期待が高まる白熱のレースが予想されます。国内のパラスポーツ発祥の地・大分で、世界最高峰のレースにご注目ください。

《オープニングイベント》

記者会見、開会式前のオープニングイベントとして、今年もトークイベントを開催し、大会を盛り上げます。今年は、元車いすテニスプレイヤーである国枝 慎吾 氏も出席します。

「インクルージョンが未来を拓く～我々のチャレンジ～」

日時：11月18日（土）14時～14時45分

主催：太陽の家企業会 後援：大分県障がい者スポーツ協会

内容：パネルディスカッション

- ・企業会代表／ホンダ太陽株式会社 鎌田 雅仁 氏
- ・アスリート／国枝 慎吾 氏
- ・福祉実験カンパニー/株式会社ヘラルボニー

松田崇弥氏、文登氏

《大分県障がい者スポーツアンバサダー内川聖一氏がレース当日に来場》

本年7月28日に大分県障がい者スポーツアンバサダーに就任した内川聖一氏が、レース当日来場し、今大会と一緒に盛り上げます。

（内川聖一氏の参加予定）

- スタート観戦
- ハーフマラソンスターター
- フィニッシュ地点での観戦
- 閉会式プレゼンター



《主要スケジュール》

11月18日（土）	9:00~12:00	選手受付	大分県庁舎本館
	9:00~14:00	クラス分け（必要な選手）	大分県庁舎本館
	15:00~15:30	有力選手記者会見	ガレリア竹町ドーム広場
	16:00~16:30	開会式	ガレリア竹町ドーム広場
	16:30~	パレード	ガレリア竹町ドーム広場等
11月19日（日）	10:00	マラソンスタート	大分県庁前
	10:03	ハーフマラソンスタート	大分県庁前
	13:20~14:20	閉会式（表彰式）	ジェイリース・スクエア
	18:30~20:30	交歓の夕べ	レンブラントホテル大分

<参考：大分国際車いすマラソンについて>

1981年の“国際障害者年”を契機に、障がい者医療の専門医で社会福祉法人太陽の家創設者・中村裕（ゆたか）博士（故人）の提唱により世界初の「車いす単独の国際マラソン」としてスタート、現在では世界パラ陸上競技連盟の公認大会として、国内外から世界のトップアスリートが集う世界最高峰の大会へと成長を遂げました（昨年までに述べ 11,604 人の選手が出走）。

マラソンは男子、女子ともに最速クラスの世界記録が本大会で樹立されており、男子はスイスのマルセル・フグ選手（第 40 回記念大会<2021 年> 1 時間 17 分 47 秒）、女子はスイスのマニュエラ・シャー選手（第 39 回大会<2019 年> 1 時間 35 分 42 秒）が世界記録保持者です。



故・中村裕博士
太陽の家は、東京 2020 パラリンピック競技大会の聖火の大分県集火式の会場にもなりました。



第1回大会のフィニッシュシーン
手と手を取りあい
「友情の同時優勝」を主張する選手



大分国際車いすマラソン

OITA International Wheelchair Marathon